

第17期（令和6年度） 事業報告書

特定非営利活動法人子どもの環境を守る会 Jワールド

令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

第17期 令和6年度 事業報告書

目次

ページ 1～3

事業の成果

令和6年度

ページ 4

事業の実施に関する事項

令和6年度

ページ 5

各事業の計画に対する実績

令和6年度

ページ 6

各事業の計画

令和7年度

(令和7年4月1日～令和8年3月1日)

ページ 7

正会員・賛助会員の推移

令和6年度

1. 事業の成果

前松戸市教育長 伊藤純一氏講演会を実施した。ボランティア証明書授与式を実施した。

ユース事業

ユーススペースは放課後の中高生の居場所として毎週月曜日から金曜日の16時から19時まで開催。ゲーム、バンド、勉強、レジンや手芸等、様々なツールも用いながら、誰でも話ができる安心できる居場所作りを行った。

同じ場所で行われている子ども食堂開催日はユーススペースにも参加者が増える傾向があるが、今後は場所の調整も必要。

予告なく立ち寄る大学生や元利用者等、かつての居場所にふらっと帰ってきて、彼らの「帰る場所」になっている。

4月に進級入学おめでとうパーティ、12月クリスマス会を実施。

引き続き、ユーススペースで育った高大生数名が、学習支援事業でのボランティアスタッフとして活躍した。卒業生の中から毎年ボランティアが参加してくれる、受益者が支援者になるよい循環が継続している。

ゲットユアドリーム事業（松戸市委託事業）

今年度も6回のゲットユアドリームで、計72名（小金中学校：18名、第三中学校：11名、和名ヶ谷中学校：13名、旭町中学校：7名、第四中学校：11名、新松戸南中学校：12名）延べ人数（重複あり）の講師の方々にお話しいただき、市内中学生たちに様々な価値観や職業観に触れ将来について考える場を提供できた。

各学校の生徒さん達らのアンケートの回答の中に、「失敗しても大丈夫」「ひとりひとりが大切である価値は変わらない」という言葉に励まされたという意見が多かったので、さらにゲットユアドリーム事業として生徒さん達の自己肯定感ややる気の向上につながるよう、講師の方々にもフィードバックしたりスタッフも努めていけるよう励ましあっていたい。

松戸市子どもの学習支援事業（松戸市委託事業）

令和6年度は、火・木コースのみの開講であった。月・水・金もJワールド独自の居場所を開設し、いつでも来られる子どもの居場所づくりを目指した。

<学習面>

今年度は小学生の利用者が増えず、参加者が1人という日もあったが、共に学び、遊ぶ中で、スタッフとの信頼関係が築かれていったと感じる。成績が上がった体験もしていて、子どもたちは喜んで来る、保護者も安心して送り出すことができる居場所として機能してきているのではないかと思う。

中学生は中3生が4人ともっとも少なく、1、2年生が中心で、勉強するときは静かに真面目に取り組んでいる子どもたちが多かった。学校の進度についていかれていない子どもたちについては、わからないところまで遡り、理解できるまで何度も教え、その子どもに合わせた地道な関わりを積み重ね、子どもの特性に配慮した学びを提供していくことに尽力した。受験生には一人一人の志望校合格を励まし、精神面を含めた不安材料を取り除きながら関わることで、全員が志望校に進学することができた。休憩時間にはおやつも提供し、スタッフやその場にいる大人も一緒に食べながらおしゃべりし、日頃体験できない異年齢の交流がなされている。

できないことを恥ずかしいと思わずに、できないからできるようになるチャンスなんだということを伝え、子どもも保護者も安心する様子を見るにつけ、比較競争社会の中で自己肯定感を高めるために、一歩でも前進したことを褒め励ますことの重要性を感じている。

<居場所づくり>

新学期から、学習支援から継続して卒業生の訪問が続き、進学しても来なくなる場所となっていること、関わり続けられることが喜びとなっている。社会人になった卒業生も顔を見せてくれることがあり、学校でも職場でも家庭でもない、自分のことを話し聞いてもらう場所が必要とされていると感じる。保護者の方からも、卒業してからも行ってよいか？というお問い合わせをいただき、子どもを安心して送り出せる場所として受け止めていただけていることは励みとなった。

ゲームをしたりお菓子を食べたり、勉強もしたりしながら自由に時間を過ごし、重荷を下ろし元気をチャージする、ふらっと立ち寄れる場所として、いつでも来られる安心を体験してもらえそうな受け入れ態勢を整えていきたい。そのためにも、一人ひとりに関心を持ち、存在を大切にするという価値観をもって、子どもたちがありのままの自分を大切にできる大人に成長していくことをサポートできればと思っている。

J ボランティア事業

ボランティアを希望する学生に【あなたは高価で尊い】【あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい】の精神のもとにボランティア活動を始める前に自己肯定感を学んでからボランティア活動に入ってもらった。研修をしてか食堂のお手伝い、学習支援や居場所支援のボランティアに入ること、J ワールドの理念と一致して活動に参加してくれた。学生のもっている力が発揮されていた。

松戸市地域子ども・子育て支援事業 おやこ DE 広場旭町（松戸市委託事業）

ママパパ学級三日目、赤ちゃん教室を昨年に続き、広場で開催した。

乳幼児親子と中学生のふれあい体験は、旭町中学校のみの開催だったが、市内各地域のおやこ DE 広場を通して協力親子を募集したところ、市外も含め、多くの方の参加があった。

イベント時にシルバー人材センターのボランティアを通して、シルバー世代と交流があり、リトミックチームのボランティアにもつながった。

松戸市のマイサポートスペースという気軽に相談できる場所としての登録が始まった。

利用者数は横ばいで、1歳前後から保育所、保育園に預ける家庭がさらに増えていて0才児の利用が最も多い。

パパがお子さんを連れて広場を利用することが増え、トイレなど順次対応している。

松戸市地域子ども・子育て支援事業

<子育てコーディネーター>

相談は妊娠8ヶ月時の面談も含め、保育園入園についての相談が多かった。

馬橋西高齢者いきいき安心センターと、ダブルケアをしている家庭に届くように引き続き連携している。

積極的に様々な援助を活用されている方がいる一方、あまり情報を得ておらず、援助を受けていない方もいる状況があり、インターネットの情報量は増えているが、実際に援助を必要とする家庭に届いていくためコーディネーターの重要性を感じた。

子育て支援事業

<ママカフェ>

ママカフェとして活動し始め、親子の居場所づくりを通して、同じ月齢のお子さんと触れ合う機会の少ない方や、少し先行く子育ての先輩ママと話すことで、不安や、悩みを安心して話せる場所となっており、継続して来られる方が多くなっている。

今年度も、リース作り、ピクニック、お茶会など企画し、一方的な提供ではなく、参加さ

れる方も共に企画や準備を手伝ってくださり、役割があることで利用定着にもつながっている。

<リトミック>

毎月参加者5～8組の親子が参加。特に育児休暇中の親子連れが多く、仕事復帰される前の親子の居場所となった。

親子 DE 広場旭町と連携し、お子さんとの時間を過ごせる場所提供も行うことができ、他のお母さんとの交流の場所となった。

昨年につき、参加者にピアノ伴奏を依頼、参加者、スタッフが一緒になって開催でき、ママの居場所となっている。

リバちい事業

ユーススペースを利用した活動を継続。火曜日週一回に活動を限定。スマイルプロジェクト事業（松戸市委託事業）を行った。

普及啓蒙事業

活動報告として「Jタイムズ」を4月に発行し、賛助会員、支援関連機関、学校関係などに発送した。

2. 事業の実施に関する事項 第17期

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の 平均人数	受益対象者の範 囲および人数	支出額 (千円)
① ユース事業	中高生の居場所の開	毎月	SRCビル	2人	中高生	
⑧子育て支援事業（リトミック）	乳幼児が心身共に健康になり、親とのスキンシップの時間を持ったための企画・運営（リズム体操など）	月1回 金曜日	SRCビル 2F 多目的ホール	6人	未就園児 20人 保護者のべ 100人	23
⑨リバちい事業 （スマイルプログラム）	松戸市子どもの自立支援事業（スマイルプログラム）の委託を中心に行う。	月1回 火曜日 10時-17時	SRCビル2F ユーススペース又は訪問	3人	1人	0
⑩普及啓発事業	各事業についてのHPを開設しチラシ配布等により活動内容を紹介する。	随時	SRCビル 2F 多目的ホール	3人	不特定多数	0
⑪共通本会計						1,383
⑤松戸市地域子ども・子育て支援事業 （おやこDE広場 旭町）	乳幼児・親子の集いの場所を提供する。	月 17回	松戸市 シニア交流 センター3F	3人	のべ 2,388人	4,603
⑥松戸市地域子ども・子育て支援事業 （子育てコーディネーター）	おやこ DE 広場開催時、子育ての相談、子育て支援サービスの紹介、子育て支援機関との連携。	月17回	松戸市 シニア交流 センター内	1人	松戸市および 近隣の市民 のべ 182人	2,134
⑦子育て支援事業 （ママカフェ）	親子の居場所作り	月1回 金曜日	SRCビル 2F 多目的ホール および 3F	15人	松戸市及び近隣の市民 70人	56

計 16,940 千円

※千円未満切り捨てのため、支出欄の合計と総計は一致し ません。

第 1 7 期 令和6年度（令和6年4月 1 日～令和7年3月31日）
【計画】に対する【実績】

事業名	実施日		実施場所	従事者の 平均人数		受益対象者の範囲 及び人数		収入の部（千円）		支出の部（千円）	
	計画	実績		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①ユース事業	月20回	月20回	SRCビル2F 多目的ホール	2人	2人	延べ： 中学・高校生 (1,000名)	1回平均1.8人 延べ430人	0	1	30	13
②ゲットユアドリーム事業	年6回	年6回	松戸市立中	30名	30名	中学生（1,000名）	中学生（1,102名）	1,087	1,087	988	1,119
③学習支援事業	中学生90日 小学生90日	中学生100日 小学生100日	SRCビル2F 多目的ホール	10人	10人	延べ： (1,400名)	学習支援延べ：1,400名	9,479	8,807	8,696	7,609
④Jボランティア事業	随時	随時	SRCビル 2 階、青少年 会館	3人 ～ 5人	3人	延べ： 中学・高校生 (100名)	13名	15	2	5	0
⑤おやこDE広場旭町（松戸市委託事業）	月17回	月17回	シニア交流 センター内	3人	3人	延べ：（2,300名）	延べ：（2,388名）	5,305	4,869	5,006	4,603
⑥子育て支援 コーディネーター	月17回	月17回	シニア交流 センター内	1人	1人	延べ： (160名)	延べ： (182名)	2,612	2,257	2,273	2,134
⑦子育て支援事業 （ママカフェ）	月1回 金曜日	月1回 金曜日	SRCビル2 階及び3F	20人	15人	延べ：松戸市 及び近隣の市 民（50名）	延べ：松戸市 及び近隣の市 民（70名）	24	66	24	56
⑧子育て支援事業 （リトミック）	月1回 不定期	月1回 金曜日	SRCビル2 階及び3F	4人	6人	未就園児(20 名) 親含む	未就園児(20 名) 親100名含 む	6	40	6	23
⑨リバちい事業（スマイルプログラム）	月1回火曜日 10:00-17:00	月1回火曜日 10:00-17:00	SRCビル2 階	3人	3人	不特定多数	1名	137	0	10	0
⑩普及啓発事業	随時	随時	SRCビル2F 多目的ホール	3人	3人	不特定多数	不特定多数	0	0	25	0
事業収益収支								18,665	17,129	17,063	15,557
会費・入会金収入								1,000	196		
補助金及び助成金収入・寄付金収入								700	588		
その他（管理費等）										1,975	1,383
収支総合計								20,365	17,913	19,038	16,940
当期利益（税前）計画/実績										1,327	973

第18期 令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）【計画】

単位千円

事業名	実施日	実施場所	従事者の平均 人数	受益対象者の 範囲及び人数	年間収入対 象	収入の部 (千円)	支出の部 (千円)
①ゲットユアドリーム事業	年6回	松戸市立中	30名	中学生 (1,000名)		1,087	988
②学習支援事業 (学習面) (居場所)	中学生100日 小学生100日	新松戸リバイ バルチャーチ 内	10人	延べ： (1,400名)	運営業務委託 収入	9,866	8,969
③おやこDE広場旭町 (松戸市委託事業)	月17回	シニア交流セ ンター内	3人	延べ： (2,300名)	運営業務委託 収入	6,191	5,842
④子育て支援 コーディネーター	月17回	シニア交流セ ンター内	1人	延べ： (160名)	運営業務委託 収入	3,389	3,197
⑤子育て支援事業 (ママカフェ)	月1回 金曜日	新松戸リバイ バルチャーチ 内	15人	延べ：松戸市 及び近隣の市 民(70名)	参加費	150	70
⑥子育て支援事業 (リトミック)	月1回 金曜日	新松戸リバイ バルチャーチ 内	6人	未就園児(50 名) 親含むと 100名		80	50
経常収支						20,763	19,116
会費・入会金収入						1,000	
補助金及び助成金収入・寄付金収入						700	
その他収入・管理費等						157	2,076
収支総合計						22,620	21,192
当期利益							1,428

注記：第17期のユース事業、Jボランティア事業、リバちい事業、普及啓蒙事業を【その他（管理費等）】の勘定科目に移しました。

正会員・賛助会員数推移

単位：円

		正会員	賛助会員	計
平成20年度	会員数	28	11	39
	会 費	54,000	72,000	126,000
平成21年度	会員数	26	12	38
	会 費	53,000	59,000	112,000
平成22年度	会員数	26	7	33
	会 費	53,000	33,000	86,000
平成23年度	会員数	24	16	40
	会 費	52,000	77,000	129,000
平成24年度	会員数	26	28	54
	会 費	54,000	147,000	201,000
平成25年度	会員数	28	33	61
	会 費	61,000	393,000	454,000
平成26年度	会員数	31	38	69
	会 費	71,000	321,000	392,000
平成27年度	会員数	31	110	141
	会 費	70,000	646,000	716,000
平成28年度	会員数	20	103	123
	会 費	61,000	536,000	597,000
平成29年度	会員数	20	106	126
	会 費	68,000	583,000	651,000
平成30年度	会員数	17	80	97
	会 費	59,000	360,000	419,000
平成31年度	会員数	23	72	95
	会 費	79,000	352,000	431,000
令和2年度	会員数	26	65	91
	会 費	94,000	276,000	370,000
令和3年度	会員数	26	82	108
	会 費	103,000	343,000	446,000
令和4年度	会員数	25	67	92
	会 費	83,000	332,000	415,000
令和5年度	会員数	25	55	80
	会 費	96,000	274,000	370,000
令和6年度	会員数	24	45	69
	会 費	80,000	309,000	389,000